

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年4月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200185
法人名	社会福祉法人 白寿会
事業所名	グループホーム 和
所在地	鹿児島県薩摩川内市中福良町2911番地1 (電話) 0996-22-0753
自己評価作成日	令和4年1月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月23日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者が自分の家で暮らしておられた時のように、主体的に自由気ままな生活を送っていただきたいと思っています。

私たち職員は、介護や医療および認知症についての理解を深め、ご利用者の生活が活気に満ち、豊かで笑いにあふれたものであるようにサポートに努めたいと考えています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、2ユニットのグループホームである。敷地内に同法人の特別養護老人ホームや高齢者福祉施設等があり、共に連携を取っている。
- ・自治会に加入して地域の会合は自粛しているが、回覧板を廻したり花をいただいたり野菜の差し入れ等があり、クリーン作戦には職員も関わり清掃作業を地域の人と行っている。
- ・利用者の個々の力量に応じて、食事のメニューを書いたり、誕生日やおせち料理・通常の食事の準備等を一緒に作っている。
- ・職員間のチームワークが良く、管理者や職員はコロナ禍であっても、利用者や家族が安心できるようなサービスを提供できるように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に込めた想いを最優先で伝えていきます。新人も多く実践につなげるまで至っていませんが、将来的に理念を軸として考え、実践してくれると思います。	理念は玄関やフロアに掲示しつつでも振り返りができるように誰でも見えるところに掲示している。ケアに行き詰った時など改めて基本の考えに立ち返り理解を深めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 2022/1/31	新型コロナウイルスのせいばかりではありませんが、日常的な交流が滞っています。形をかえた関係づくりが必要と感じています。	自治会に加入し回覧版で地域情報を把握し、クリーン作戦には職員も関わり清掃作業を地域の人で行っている。他の行事は自粛している。野菜や花の差し入れがある。散歩の時、声かけやあいさつを交わしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ対策に追われ、地域活動がほとんど出来ない状況にあり、代替の方法を模索しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染防止のため、資料提出による書面開催のみでした。双方向性が失われ、サービスに反映できていないので何かしらの工夫が必要と考えています。	運営推進会議はコロナ禍で2ヶ月毎に定期的に書面をもって開催している。事業所の活動状況や利用者の状況・サービス内容・外部評価結果報告等を報告し、電話で意見を聞き、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃から連携を密にするのは難しい部分がありますが、市の担当の方々には、丁寧にアドバイス等を頂いており安心して事業ができています。	市担当者とは定期的開催する運営推進会議の打ち合わせや書面での状況報告をして、行政からの指示を貰ったり相談を気軽にしている。行政主催の研修会ではリモート研修に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所として身体拘束はおこなわないことを宣言しています。身体拘束等適正化のための7つの指針を定め、職員へ周知する機会を定期的に作っています。徘徊対策を理由に施錠をおこなうことはありません。	身体適正化委員会があり3ヶ月毎に事例を参考に研修会や勉強会を開催している。ミーティングでも拘束について、繰り返し徹底している。玄関の施錠は昼間はしていない。外出希望の時は職員が同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について、3か月に1回法人および事業所内で学ぶ機会を設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護や成年後見制度について学ぶ機会を作っています。併せて個々の必要性について検討を行いますが現状、該当者がいないと判断しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>後々トラブルにならないように十分な説明をおこなっています。納得が頂けない場合は、契約も解約もおこなわないつもりでします。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者からの訴えについてはなるべく聞き入れ、健康や安全を理由に直ぐに断らず、思ったことを言葉に出せるよう職員に指示してあります。</p> <p>家族に対しては月1回写真に近況を添え郵送したり、電話やLINEで伝え、要望等引き出せるよう工夫しています。</p>	<p>利用者からは、ゆっくりくつろいでいる時や入浴の時などに希望や意見を聞いたりしている。家族からは面会の時に話しかけて要望を聞いている。便りや電話・ラインで希望を聞くこともある。アンケートも年1回行っている。意見や要望は運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議に業務執行理事および統括施設長が参加しており、職員の意見や提案を聞く機会があります。要望などが反映され職員の意欲向上も図られていると考えます。</p>	<p>代表者や管理者は日常のケアの中やミーティングなどで意見が言いやすい雰囲気作りに務め意見や提案を聞き入れている。必要時に個人面談も行っている。勤務時間の改善をしたり、働きやすい職場環境をめざしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課や面接などの機会があり、職員の状況を把握しやすくなっています。職場環境・条件等は整備されています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修機会は十分確保されていると思う。職員のステップアップと連携が明確であれば受講率も上がると考えている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近くのグループホームと訪問や合同行事の計画もありましたが、コロナ関連で実施に至っていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>じっくりとお話をお聴きすることから始めています。職員を信用していただくことが安心につながり、その後の関係づくりにも重要だと認識しています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の困っていること、不安、要望等には丁寧に対応しています。そのうえで、事業所からのお願い等もお話するようにしています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族が必要としている支援も含め、総合的に判断して対応しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は時に家族のようであったり、頼ったり頼られたり、言いたいことを言い合ったりしながら関係を築いています。勿論、人生の先輩であるご利用者の尊厳を大切に考えています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ感染防止対策で思うように面会が出来ない中、情報交換の機会を増やしました。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染防止策のため、馴染みの人や場所と関係が途切れた感がありますが、必要に応じ支援をおこなう所存であります。	コロナ禍のため知人や友人とのふれあいは自粛している。受診の帰りに利用者の希望を聞いて、自宅近辺や本人が馴染んできた好きな場所に行ったりしている。買い物は職員が代行で対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングで過ごされるご利用者が増えています。声を掛けてくださるご利用者が数名おられコミュニケーションが生れています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談や支援に努める用意はありますが、他事業所に移られた場合の関係性は薄くなっていると感じます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分らしい生き方ができるように配慮しています。把握が難しいケースも多いですが、本人の尊厳が損なわれないように努めています。	入浴のときや夜ゆっくりしている時などに思いや意向を聞いている。既往歴や生活歴を参考に日々の記録から職員で話し合っ、その人らしさを分析して支援している。困難な場合は家族と相談して対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や馴染みの暮らしについて、ご本人・ご家族等の協力をもらい把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の日々の変化等について職員間で情報共有に努めており、必要に応じてケアプラン等に反映できるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	概ね、そのようにできていると考えます。ご家族等に意見をいただきやすいように必要に応じて情報提供をしています。	本人や家族・必要な関係者で担当者会議を行い主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月で行っている。状況が変化した時はその都度行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>職員の気づきを大切にしています。ご利用者の状況について、記録や小ミーティングなどで情報の共有をおこなっています。支援方法や介護計画の見直しにつなげています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>柔軟なサービスができるよう要望等には丁寧に対応しています。直ぐできない場合には、どうしたら実現できるかを職員一人ひとりが考える習慣をつけ、事業所の多機能性につなげるよう取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源の把握に努めていますが、コロナ禍においてどのように活かすか難しさを感じています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医と築いて来られた信頼関係を大切に考えています。受診時等には状態変化等の情報提供をおこない適切な医療が受けられるよう支援しています。</p>	<p>契約時に希望するかかりつけ医を聞き受診支援している。母体の医療機関から月2回の往診がある。24時間医療連携体制が整っている。他科受診は職員が対応している。必要時は医療機関にて家族に付き添いをお願いしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現状では、重度化対応の方針を取っておらず、職場内に看護師の配置はなく、訪問看護事業者との契約もありません。医療面が弱い部分は否めませんので異常の早期発見に努め、早期受診で対応しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の情報提供をおこない、退院後の受入れを前提として病院関係者と話し合いをおこなっています。多くのケースで予定より、早い退院につながっています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約の前段階でターミナルケアをおこなわない方針を説明して納得いただいています。ただし、ケースにおいては対応に応じることが考えられ、その場合は、訪問看護等との連携の可能性もあると考えます。</p>	<p>重度化・終末期に向けた説明を契約の前に行い確認している。終末期は医療機関や特別養護老人ホームの紹介をしている。必要に応じてスタッフの体制や訪問看護の契約を行い、医療連携等ができる場合は行えることもある。看取りを行った事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>コロナ禍以前は、全職員が消防の救命講習を受けるように図っていました。</p> <p>今後も講習等が難しいことが予測されるので自施設研修等を企画する予定でいます。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災等の災害時の訓練を定期的におこなっています。地域の方の協力をお願いしてありますが、合同の訓練等は実施したことがなく課題と考えています。</p>	<p>災害対策マニュアルを基に年1回法人施設と合同で、消防署の指導を受け、昼夜間想定で実施している。自主訓練も年1回、避難訓練を行っている。地域の協力を依頼している。災害時の備蓄は水・米・インスタント食品・レトルト食品・缶詰等を同敷地内の特別養護老人ホームに保管している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重、プライバシーを損ねないため、職員の丁寧な言葉遣いが大切と考え、研修等を定期的におこないました。	利用者の尊厳やプライバシーを守るために、年2回内部で勉強会を実施している。特に言葉遣いについては事例を参考に職員間で意見を出し合い、対応を共有化している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いを伝えたり、希望を言われぬ利用者には職員から声を掛けをおこなっています。自己決定については十分配慮して職員主導にならないようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者にとって第2の家であることを職員が認識してご利用者のペースに合わせています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	食べこぼし等で汚れた服で過ごされないように尊厳が保たれるよう配慮しています。お化粧品も取り入れています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お箸を配ったり、人の分まで下膳して下さったり助け合いの場面がみられます。	食事を楽しめるように準備段階では食材の下ごしらえを行い、もやしの根切や皮むき・食後の茶碗洗い・下膳等を職員と一緒にしている。献立は栄養士が作成し職員が調理をしている。お誕生会も楽しく行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調の変化のサインとして重視しています。一時的か継続しているかで対応を考えています。1日の摂取量確保が難しい場合、ご家族やかかりつけ医等の意見も聞き代替品も検討します。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要と思われる方には個別に歯科往診を依頼して口腔状態の改善に努めています。指導内容は他のご利用者の口腔ケアにも応用しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	パターンを把握して、声掛けや誘導をおこなっています。夜間数回あった失敗がほとんど無くなった方やパッド消費量が減った方がおられます。	個別の排泄記録簿でパターンを把握し、タイミングを見てトイレ誘導している。自分でズボンの上げ下げができるところは自分で行うようにしている。羞恥心や不安への取り組みに配慮し、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動や食事等で対応が難しい頑固な便秘の方には、処方薬や処方内容の変更をかかりつけ医と相談して対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を断られる方には駆け引きもありますが、基本本人の意思を尊重するようにしています。曜日や時間には対応できていない部分もあります。	入浴は週3回、午後からを基本にしている。急な変更も柔軟に対応し希望に沿っている。入浴を拒む場合は時間をずらしたり、介助者を変更したり、無理のないようにして入浴を楽しめるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠たくなった時に横になっていただくように支援しています。また、「もう少し寝たい」と言われる時にはそのようにしています。夜、不安や妄想がある方には傾聴に努め安心出来るまでお話しを聞くように努めています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新人職員は、ご利用者の現病等把握に努めると同時に処方薬の把握に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の発言や意見が楽しみにつながるようにしています。自ら要望を伝える方が少ないので職員の関りが重要と考えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>普段行けない場所へは、ご家族が協力して対応して下さっていましたが、コロナ禍において外出許可を出せない状況でした。</p>	<p>外出はコロナ禍のため自粛している。広い敷地内で天気のいい日は家庭菜園を見たり周辺を散歩している。デッキで外気浴をして気分転換している。受診後にドライブをして人の少ない場所を選んで季節を感じてもらえるようにしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一緒に買い物に行く機会がコロナ禍においてなくなり、職員やご家族が買い物代行をしている状況です。現在、自分で所持管理されているご利用者はいらっしゃいません。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>早朝、深夜以外要望があれば電話またはビデオ通話で対応しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり、壁に皆で作った工作物を飾ったり空間を楽しむ工夫をしています。心地よく過ごせるよう室温、湿度、音や光にも気を配るようにしています。</p>	<p>リビングは窓が多く光が差し込み日当たりがよい。刺激のある音に一番気を使っている。除湿器やエアコン・オゾン発生器で空気の調整をしている。季節の花や利用者と一緒に作った作品などを飾っている。キッチンからはホールを見わたすことができる。昼間もあり、利用者は好きな場所でゆっくりと過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>独りになりたい時は、居室で過ごされることが多いようです。リビングに居ると誰かがおられるのでリビングで過ごされる方が多いです。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談して本人が居心地よく過ごせるよう使い慣れたものや好みのものを持って来ていただいています。</p>	<p>居室はエアコン・ベッド・クローゼットが設置してある。各居室は個性的で、タンスや椅子・仏壇・位牌・ぬいぐるみ等が置かれている。プライバシーも守れて安心した生活ができる。季節の衣替えも職員と一緒にしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>多少の不便はあって良いと考えていますが、それが危険であれば、その方に合った方法で介助したり、改善するようにしています。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない